

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

榎本小	学校	児童数	152
-----	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.60	17.64	30.96	33.46	44.55	9.64	148.16	18.95	48.80
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.86	16.54	34.14	31.36	33.28	10.02	132.94	11.15	48.03
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

・各種目、体力合計点の平均値は男女ともに大阪市、全国の平均値を下回った。全国の体力合計点の平均値より5点近く下回っているが、各種目で見ると極めて下回っていることはない。どの種目も全体的に下回っており、運動能力・体力向上の底上げが必須である。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合は、肯定的に回答する児童の割合は男女ともに大阪市、全国の割合と変わりはない。したがって、運動嫌いが多いわけではない。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子16.6%（全国9.8%、大阪市11.7%）、女子20.4%（全国17.3%、大阪市20.0%）と男子が多いことが分かる。運動は好きだが、運動時間が短いことにより、運動能力が全国や大阪市より低いことが考えられる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまでの取組みとして体育的行事としてかけあし週間、なわとび週間を行っている。寒さで室内にこもりやすい時期でも、走ったり縄跳びを跳んだりして、簡単な運動から体を動かす習慣をつくようにしている。他には、委員会での活動の一環として、PK大会、フリースローカップなど、スポーツに親しむことも行っている。今後の課題は、このような行事や日々の授業で運動やスポーツをすることが好きな児童をさらに増やし、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合を減らすことである。具体策は日々の授業の中で成功体験を積み重ねていけるようになったことを褒め、授業以外の時間（放課後、休み時間、習い事）で運動時間を増やすことである。「運動＝しんどいや難しい」を脱却し、「楽しい、やりたい」と感じるようにすることで男女ともに自然と運動する時間は増えてくると思われる。